

公開シンポジウム

# 京都・梅小路公園に水族館？

環境モデル都市  
京都に水族館？

ほんまに  
ほんま？

～いのちと環境から考える～

2010年7月22日(木) 開演 18:00 終演 21:00

入場  
無料

京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 大会議室



## 1 基調講演

「生きもの感覚で生きる」 中村 桂子

(JT 生命誌研究館 館長)

## 2 対談

「動物園・水族館の功罪」

中村 桂子 × 山極 寿一 + 司会進行 梶田 真章

(JT 生命誌研究館 館長)

(国際霊長類学会 会長)

(法然院 貫主)

## 3 鼎談

「京都水族館（仮称）建設の意味を問う」

山極 寿一 × 佐野 春仁 × 西村 仁志

(国際霊長類学会 会長)

(京都建築専門学校 教務主任)

(環境共育事務所カラース代表)

／財団法人啓明社 理事



中村 桂子氏



山極 寿一氏



佐野 春仁氏



西村 仁志氏



梅小路公園

### 開 催 趣 旨

「京都市下京区の梅小路公園の一角に、オリックス不動産株式会社が国内最大の内陸型水族館を、また西日本旅客鉄道株式会社が鉄道博物館の建設を計画しています。5月14日、京都市が都市公園法に基づき水族館建設の設置を許可しました。環境モデル都市を掲げる京都市長が『なぜ恵まれた山や森や川での環境学習ではなく、わざわざ民間企業に賃貸料を下げ、また市有地を提供し、イルカなどに不自然な暮らしを強いながらの水族館建設を推進しようとしているのか、水族館は環境学習施設ではなく娯楽施設であり、人間が自己中心的な愚か者であることを教えるだけの場になるのではないか』等の疑問に正面から答えられることなく水族館の設置を許可されたことに私は哀しみを覚え続けております。当会では、今一度、立ち止まり、いのちのつながりと環境学習の視点から水族館建設の意味を検証したく存じます。どうぞご参集下さい。合掌」



法然院 貫主  
梶田真章



会場：京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 大会議室 (TEL 075-222-1777)  
京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口 地下鉄連絡通路にて連結

定員：200 名 (先着順、事前申込不要。当日、会場にお越しください)

参加費：無料 (会場でカンパを募りますので、ご協力ください)

主催：「京都水族館（仮称）と梅小路公園の未来を考える会」実行委員会

〈法然院、日本環境保護国際交流会 (J.E.E.)、アートステージ 567、財団法人啓明社、いきもの多様性研究所 (順不同)〉

お問合せ先：「京都水族館（仮称）と梅小路公園の未来を考える会」実行委員会事務局

〒604-8862 京都市中京区壬生森町 13-34 いきもの多様性研究所内

E-Mail inst.biodiversity@gmail.com

FAX (D-FAX) 020-4666-3091 (IP・光電話の方は 075-203-6449)